

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科(健康リハビリ専攻)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	日常生活動作の分析(前期)		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室
担 当 教 員	坂内 徳明	実務経験とその関連資格	病院やスポーツ現場、フィットネスの現場で様々なクライアントを担当した実務経験有り。 関連資格:理学療法士/PHI Pilates Comprehensive Instructor/NSC-CPT			
《授業科目における学習内容》						
日常生活動作の分析は人間が行う最も基本的な動作を科学的に研究する学問であり、福祉や医療、スポーツの業務に従事するには必要不可欠な知識である。日常生活動作を正しく理解し、分析するために①姿勢制御のメカニズムをバイオメカニクスの視点を持って学習する。②寝返り/起き上がり動作のメカニズムを解剖学や運動学の知識に沿って学習する。③起立/着座/歩行について動作のメカニズムや代償運動の評価のポイントを学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験、定期試験合わせて(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
石井 慎一郎『運動・からだ図解 動作分析の基本』マイナビ出版 配布資料						
《授業外における学習方法》						
教科書、配布資料を中心とした授業の予習・復習。						
《履修に当たっての留意点》						
日常生活動作の分析を理解するには身体動作における様々な視点での考え方/知識が必要になってくるので、解剖学・運動学・生理学の知識を確認しながら授業に取り組みましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作分析の概要とそれに関する用語を理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	動作分析の基礎について学ぶ。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作分析の概要とそれに関する用語を理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	動作障害に関与する機能障害について学ぶ。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢制御とバイオメカニクスの基礎や用語を理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	バイオメカニクスの概要について学ぶ。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢制御とバイオメカニクスの基礎や用語を理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	姿勢制御の基礎とバイオメカニクスについて学ぶ。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢制御とバイオメカニクスの基礎や用語を理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	身体重心移動の基礎とバイオメカニクスについて学ぶ。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通しての到達目標	寝返り動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返り動作の概要について学ぶ。		
第7回	講義形式	各コマにおける授業予定	寝返り動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返り動作を可能にするメカニズムについて学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通しての到達目標	寝返り動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返り動作を可能にするメカニズムについて学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通しての到達目標	寝返り動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返りの動作分析と動作異常の評価ポイントを学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通しての到達目標	起き上がり動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	起き上がり動作の概要について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通しての到達目標	起き上がり動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	起き上がり動作を可能にするメカニズムについて学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通しての到達目標	起き上がり動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	起き上がり動作を可能にするメカニズムについて学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通しての到達目標	起き上がり動作の分析や評価するポイントを理解することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返りの動作分析と動作異常の評価ポイントを学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通しての到達目標	これまでの授業内容を振り返り、各章におけるポイントや重要な箇所を整理することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	第1回～第13回の授業内容を復習し、要点を再確認する。		
第15回	講義形式	授業を通しての到達目標	これまでの授業内容を振り返り、各章におけるポイントや重要な箇所を整理することができる。	教科書 配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	第1回～第13回の授業内容を復習し、要点を再確認する。		